

荒俣ワンダー秘宝館って?



この世は、「わからない物〈モノ〉と事〈コト〉」からできている!
人間はそれをわかろうとすることで、生きのびてきた。
そうでなければ、とっくに人類は絶滅していたでしょう。

この秘宝館は、そうした見たくても見られない
「おどろき」の展示場です。

この世になさそうなものは、無理やり、こしらえちゃいました。

UFOのかけら、マンモスの毛、鼻で歩く動物、
皿屋敷のお菊さんが化けたサナギ、

どれも目の玉をひんむいて身動きできなくなるような「不思議」ばかり。

この「おどろき」が、あなたの脳を目覚めさせるんです。

何だ、これ!?と、疑うことから、好奇心は起動します。

あとはもう、宇宙の果てまで探究へ行っちゃってください。

世界は「うそ」と「まこと」と「どちらでもない」モノのかたまり。

こんなに面白いところは、宇宙のどこにもありませんよ!

荒俣ワンダー秘宝館 荒俣 宏

博物学って何?!

楽しみ方はかんたん

好奇心

へえ〜
おもしろいな

アラマタ式博物学

ワンダーサークル

感動

目ん玉と脳みそで
楽しもう!

探究

なんで?!
もっと知りたい

「何だ、これ!?!」と思ったら、
荒俣ワンダー秘宝館の
外側にある本で調べてみてね。

※定期的に展示替えを行うため、展示されていない資料もあります。予めご了承ください。

荒俣ワンダー秘宝館

ワンダー博士 認定書

殿

あなたは、荒俣ワンダー秘宝館の
なぞとまに挑戦し、たくさんの
ワンダーを見つけました。

よってあなたを『ワンダー博士』に認定します。
ワンダーはいろいろなところにあふれています。
好奇心の源は驚くことや感動することです。
これからもたくさんのモノに驚いて、
探究してみてくださいね。

荒俣ワンダー秘宝館

Kadokawa Culture Museum
発行:角川武蔵野ミュージアム
2022年3月

KADOKAWA CULTURE MUSEUM

文化庁 令和3年度文化庁博物館等を中核とした文化クラスター推進事業

外に出ると
ワンダーだらけ!

荒俣館 ワンダー秘宝

あらまたおんごーしほうかん

なぞとま

ガイド

博物館での5つのお約束

- 1【さわれるコーナー】以外の展示物はさわらないでね。
- 2この博物館にはたくさんの標本があります。
せまいエリアなのでゆずり合ってじっくり観察してね。
- 3ケースや展示台の上ではメモをとらないでね。
- 4メモをとるときは鉛筆をつかってね。
- 5ここでは、飲んだり食べたりしないでね。
標本に虫が寄ってきて、
悪さをすることもできません。

みんな
「お約束」を
守って
楽しもう!

ワンダーの部屋

半信半疑の地獄

ここは、「うそ」か「まこと」かわからないモノであふれる空間です。各地から集めたちよっと変で不思議なモノに出会ってみよう。



専用タブレットをのぞいて、いまそが見ている世界を体験してみよう!

●いまそのメガネ

●虫の標本箱

「森の宝石」とも呼ばれるモルフォチョウのはねは、とてもきれいな青色です。色素ではなく鱗粉の構造で作り出された不思議な色なんです。



ワンダー★2
いったい何の動物の牙だろう?

★マンモスの牙

マンモスは500万～400万年前に誕生したゾウの仲間です。絶滅してしまったため、地球上にはもういませんが、マンモス校、マンモス都市など、大きさの表現に「マンモス」が使われるので、不思議と身近に感じますね。



●鼻行類

鼻で歩く唯一のほ乳類!? 原爆実験が原因で、太平洋の島とともに絶滅したそうです。うそかまことか……。気になったらアテイクステップにある『鼻行類』という本を探してみよう。

●ヴェルツブルクの嘘石

18世紀に本当に起きた化石の贋作事件。プロの研究者がだまされたという、精巧につくられた偽物の化石です。これは、本物の偽物の化石から作られたレプリカで、文字やいきものも細かく再現されています。

他にもいろいろな化石があるよ。

ワンダー★3
ダチョウのたまごを探してみよう!

★ワニ

このワニをよ～く見てみよう。実はつくりものなんです。ワンダーの部屋はドイツ語でヴンダーカマーと言い、アツと驚くような珍品を集めて仲間たちに自慢するためにつくった部屋のことを意味します。16世紀のヨーロッパでさかんにつくられました。



19世紀半ばのフランスで人気を博した風刺画家J.J.グランヴィルは、動物を擬人化させた絵をたくさん描きました。そのひとつ「人間に変身した鳥」をばく製で作ったモノがこちらです。アラマタ博士がアメリカで見つけ大切に持ち帰った珍品なので、他ではなかなか見ることができないかもしれません。

●鳥人のばく製



ワンダー★4
小さなクモを探してみよう!



★ピーコックスパイダー

オーストラリアに生息するピーコックスパイダーは、求愛ダンスを踊ります。映像をよく見てみよう! 孔雀と同じで、鮮やかな方がオスなんです。



●エイリアン

これはエイリアンくん。よく見てみると、自転車などに使われているチェーンでできているのがわかります。廃材アートといって、使わなくなった材料でできたエコなエイリアンなんです。



え!? 宇宙人の頭蓋骨!?

ワンダー★5
博物館に便器があるの!?

★明治時代の便器

陶磁器製の便器は明治時代中期頃からさかんに作られました。焼き物で有名な愛知県瀬戸市で絵付けされた便器が料亭や旅館などに設置されたことがきっかけで、全国に広がったそうです。骨董市に出かけると、鮮やかな便器に出会えるかもしれませんよ。

何が見えるかな? ベストポジションを見つけてみよう!

●秘宝館ののぞき穴

近すぎるとよく見えないけれど、少し離れてみるとハッキリ見える不思議な目。凹凸レンズを2枚重ねて作ったこの目は、のぞく位置によって見え方が変わります。

目の裏側からも見ることが出来るよ。



ワンダーはどこにあるかな?



●さねろるコーナー

この机の上にあるものは、さわることができます。マンモスの毛や何でも透けてしまう不思議なテレビ石など、ワンダーな体験をしてみよう。



謎

●ダチョウのたまご

熱にも強い大きな卵。ニワトリの卵の何倍くらいの大きさだろう。ダチョウは病気になっても2～3日で治ってしまうことから、医薬品開発の研究者たちに注目されています。



あっちにも なにかあるぞ…



サイエンスアートの部屋

生命の神殿

「美しい標本はアートになる!」をさまざまな形で紹介する空間です。自然が作り出す科学と芸術の融合を体感してみよう。



●荒俣ワンダーホログラム

このでっかい塊はホログラムといって、3D映像が見られる装置です。いろいろな角度からのぞいてみよう! 私たちが住む地球や生命の誕生についてアラマタ博士が教えてくれるよ。



地球誕生の事件簿!

